

2022年 度

事 業 報 告 書

期 間 ： 自 2022年 4月 1日 至 2023年 3 月 31日

社 会 福 祉 法 人 江 田 島 市 社 会 福 祉 協 議 会

2022 年度 社会福祉法人江田島市社会福祉協議会事業報告書

少子高齢化社会の進行等により、住民同士のつながりが希薄化し、8050 問題、生活困窮者の増加、高齢者や障害者などへの虐待、社会的孤立など、地域の福祉課題が複雑化・複合化する中、長引く、新型コロナウイルス感染症の拡大は、地域での福祉活動に対しても大きな影響を与えました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部の事業の中止や規模の縮小など厳しい状況ではありましたが、WEB による研修等の開催など、新しい取り組みも実施しました。

法人運営事業では、業務の効率化のための組織再編と働き方改革に伴う均等・均衡待遇の取組を推進するため給与規程等の改正を行いました。

地域福祉事業（地域生活サポートセンターともに）では、広島県社協から社協総合相談支援体制強化事業を前年度に引き続き指定を受け、制度の枠を超えた包括的な支援に取り組み、総合相談支援体制の強化を推進しました。

介護保険事業においては、江田島市内でも新型コロナウイルス感染症が拡大した影響により、利用者の利用控えや業務の一時休止等の厳しい状況となりましたが、障害福祉サービス事業では、新たな事業の実施等による利用者の増加にも積極的に対応しました。

そして、「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」の実現に向けて、地域住民・行政及び関係機関等と連携し、役職員一丸となって事業を展開しました。

国が推進する「新しい生活様式」に沿い新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、2022 年度事業計画に基づき実施した事業の実績を、次のとおり項目別に報告します。

1 法人運営の適正化と組織の機能強化

(1) 事務局体制・各事業の効率的な運営の推進

ア 理事会・評議員会の開催

今年度の開催は、以下のとおり。（議案は全て可決・承認）

	開催日時	主な議案
監事会（第1回）	2022 年 5 月 25 日 (水) 9:00 開会	・ 2021 年度事業報告について ・ 2021 年度決算について

理事会（第1回）	2022年6月9日 (木) 10:00 開会	・会長の職務執行状況の報告について ・2021年度の事業報告及び決算の承認について ・2021年度の会計および業務監査報告 ・特定個人情報保護規程の全部改正等について ・緊急一時資金貸付規程等の一部改正について ・2022年度一般会計資金収支補正予算(第1号)案について ・第1回定時評議員会について ・物品購入指名競争入札の執行について ・物品購入指名競争入札に係る指名業者の決定について
評議員会（第1回）	2022年6月23日 (木) 10:00 開会	・特定個人情報保護規程等の改正について（報告事項） ・2021年度の事業報告及び決算の承認について ・2021年度の会計および業務監査報告 ・2022年度一般会計資金収支補正予算(第1号)案について
理事会（第2回）	2022年11月16日 (水) 10:00 開会	・会長の職務執行状況の報告について ・事務局の組織等に関する規定等の一部改正について ・職員就業規程等の一部改正について
理事会（第3回）	2023年3月15日 (木) 10:00 開会	・会長の職務執行状況の報告について ・2022年度一般会計資金収支補正予算(第2号)案について ・経理規程等の一部改正について ・2023年度事業計画（案）について ・2023年度一般会計資金収支予算（案）について ・第2回（臨時）評議員会の招集について ・役員等賠償責任保険契約について
評議員会（第3回）	2023年3月28日 (火) 10:00 開会	・諸規程の一部改正について ・2022年度一般会計資金収支補正予算(第2号)案について ・2023年度事業計画（案）について ・2023年度一般会計資金収支予算（案）について

イ 事務局・組織機構の強化を目的とした、各種会議の開催

(ア) 職員会議…事務局・各係及び事業所責任者による各事業の月次報告・協議
(4/5, 5/11, 6/3, 7/8, 8/4, 9/8, 10/5, 11/4, 12/7, 1/5, 2/8, 3/10)

(イ) 衛生委員会…職員の安全衛生に関する審議調査及び推進
(4/5, 5/11, 6/3, 7/8, 8/4, 9/21, 10/5, 11/25, 12/7, 1/27, 2/8, 3/10)

(ウ) 感染対策委員会…年間計画の作成, 研修・シミュレーションの内容の検討
及び実施 (4/5, 7/8, 10/5, 1/5)

(エ) 事故防止検討委員会…前年度のヒヤリハット・事故報告の集計, 今年度の
報告書の内容について検証実施 (4/5, 10/5, 1/5)

(オ) 虐待防止及び身体拘束等適性化委員会…今年度の研修について, セルフチ
ェックシートの作成 (5/11, 8/4, 11/4, 2/8)

(カ) 防災委員会…災害発生時の安否確認シミュレーションの開催と検証, 伝達
ツールの検討を行い LINEWORKS の導入を進める (6/3, 9/8, 12/7, 3/10)

ウ 押印を求める手続(様式)の見直し

社協業務のオンライン化や業務フローのデジタル化につなげる端緒として,
以下のとおり押印を求める手続(様式)を見直した。この見直しは, 押印を無
くすることが目的ではなく, 地域住民及び職員の負担軽減, 利便性の向上が目的
である。(施行期日は, 令和5年4月1日)

区 分	規 程	要 綱	その他	合 計
検討した手続の数	18	32	42	92
押印を廃止する手 続の数	14	18	18	50
押印を廃止する手 続の代表的なもの	文書事務処理 規程	法定後見事業 利用申込書	休暇届 出張復命書	

(2) 人材育成による高品質のサービス提供体制の実現

ア 資格取得促進

社会福祉士・精神保健福祉士等の職務に必要, 有益となる資格の取得を奨励
することを目的として, 資格取得支援助成金を支給した。今年度の資格取得及
び助成金支給は以下のとおり。

資格名	資格取得職員数	支給金額
社会福祉士	0 人	30,000 円／人
介護福祉士	1 人	20,000 円／人
介護支援専門員	3 人	20,000 円／人

イ 外部研修会等への参加支援・オンライン（ネット配信）研修の推進

職員個々人の能力や専門性の向上のため、外部研修会への参加を支援した。また、行政や関連団体との事業運営等に関する会議・委員会への参画を積極的に支援した。更に、職員会議等において、研修参加者によるフィードバック研修や会議・委員会参加者による協議事項の報告を行うなど、職員全員が最新の情勢・知識・技術を習得する機会を設けた。オンラインによる会議・研修の参加や主催が定着しており、ネット環境の拡充やZOOM(ズーム)との年間ホスト契約の継続等の整備を図り対応した。

(ア) 総務課

改正育児介護休業法・パワーハラスメント防止対策・業務改善助成金オンライン説明会（1日）、労基署の突然の臨検への対応法セミナー（1日）、企業のメンタルヘルス入門オンラインセミナー（1日）、健康保険委員研修会（1日）、安全運転管理者講習（2日）、甲種防火管理新規講習（1日）、ひろしま社協活動推進会議管理職部会（3日）、ひろしま社協活動推進会議総務・経理部会（3日）

(イ) 地域福祉課

a 地域福祉係

地域福祉活動計画策定・推進セミナー（2日）、社協の役割を見つめ直すテーブルセミナー（2日）、支え合い活動リーダー等養成研修（2日）、地域づくりを進める専門職研修（2日）、地域生活支援を進める専門職研修（4日）、キャラバン・メイト養成研修（1日）、福祉教育推進セミナー（1日）、福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程：中堅職員コース（4日）

社協生活支援ケアワーカー向上研修：ファシリテーター（1日）、安芸地区等生活支援コーディネーター意見交換会研修会（2日）、社協生活支援コーディネーター実践研究会（5日）

災害ボランティアセンターマネジメント研修会（2日）、市町被災者生活サポートボランティアセンター運営者研修（3日）、広島県被災者生活サポートボラネット推進会議初動対応強化部会（3日）、

地域共生社会に向けた後方支援策に関する検討委員会（6日）、地域人材確保推進体制整備事業合同会議（1日）、広島県社協活動発展計画策定・評価委員会（1日）、課題解決研究会（5日）、ひろしま社協活動推進会議地域福祉部会（3日）

職業紹介責任者講習会（2日）

b 生活福祉係

かけはし専門員研修（1日）、かけはし・法人後見担当者会議（1日）、中

核機関体制整備に向けた市町研修会（１日）、権利擁護中核機関設置協議（１日）、総合相談・対応力強化研修（３日）、能力開発啓発セミナー『魅力ある職場をつくる』（１日）

主任相談支援専門員研修（５日）、相談支援従事者現任研修（９日）、発達障害支援基礎研修：学齢期・思春期・成人期（２日）、発達障害支援スキルアップ研修：相談支援（３日）、障害支援区分認定調査員初任者研修（１日）、サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者基礎研修（１日）指定障害福祉サービス事業者等集団指導研修（１日）、地域精神保健研修会・ひきこもり研修会（１日）、自殺対策人材育成研修（１日）、障害者虐待防止・権利擁護研修（１日）、精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修（２日）、広島県障害者相談支援事業連絡協議会（１日）、広島県障害者相談支援事業連絡協議会委託相談部会（４日）呉安芸地区障害者雇用関係機関連絡協議会（１日）

生活困窮者自立支援制度相談支援員養成研修（４日）、就労準備支援事業従事者養成研修（２日）、家計改善支援事業従事者養成研修（２日）、生活福祉資金貸付事業新任担当職員研修（１日）、生活福祉資金（特例貸付）に係る償還・免除事務等説明会（３日）、呉地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会（１日）、関係機関合同会議（２日）

（ウ）在宅福祉課

a 居宅介護支援事業所

主任介護支援専門員更新研修（３４日）、主任介護支援専門員研修（６日）、介護支援専門員更新研修（３０日）、認定調査員新規研修（１日）、実務研修実習指導者養成研修（６日）、ケアマネジメント向上研修（２日）、介護予防ケアマネジメント・短期集中予防サービス活用研修（１日）、適切なケアマネジメント手法普及推進セミナー（２日）、介護支援専門員が知りたい他方の理解（１６日）、ゲートキーパー研修（２日）、在宅緩和ケア研修（８日）、難病カフェ（１日）、カスタマーハラスメント対応セミナー（１日）、能力開発啓発セミナー『魅力ある職場をつくる』（２日）、ひろしま社協活動推進会議介護保険部会研修会（１日）、キャリア別社協職員研修（３日）

b 訪問介護事業所

同行援護従事者養成研修（５日）、ひろしま社協活動推進会議介護保険部会研修会（１日）

c のうみ通所介護事業所

自立支援介護研修（３日）、福祉施設・事業所の看護職員研修（１日）、能力開発啓発セミナー『魅力ある職場をつくる』（１日）、ひろしま社協活動

推進会議介護保険部会研修会(1日)広島県災害派遣福祉チーム(広島DWAT)チーム員基本研修・スキルアップ研修・リーダー研修(3日), 介護支援専門員実務研修(2日)

d おおがき通所介護事業所

自立支援介護研修(4日), 自立支援介護研修フォローアップ研修(2日), ひろしま自立支援介護研究会研修(1日), 広島県老人福祉施設連盟呉・海田ブロックデイサービスセンター部会研修会(3日), 老人福祉施設職員セミナー(1日), 老人福祉施設連盟総会・施設長研修会(2日), 広島県災害派遣福祉チーム(広島DWAT)チーム員基本研修・スキルアップ研修・リーダー研修(3日), ひろしま社協活動推進会議介護保険担当部会(6日), ZOOM ホスト側研修会(1日), 社会福祉法人経営者協議会研修会(2日), 安全運転管理者講習(1日)

e 福祉用具貸与事業所

福祉用具専門相談員指定講習会(8日), ひろしま社協活動推進会議介護保険部会研修会(1日)

f 自立支援センター

呉圏域精神障害者地域生活支援推進協議会(1日), 能力開発啓発セミナー『魅力ある職場をつくる』(1日), キャリア別社協職員研修(3日), 甲種防火管理新規講習(1日)

(3) 職員の健康増進や年次有給休暇の取得率向上等, 働きやすい職場づくりの推進

計画的な年次有給休暇の取得のため, 4月から6月までの3か月間における年次有給休暇取得目標日数を3日~5日と設定し, 職員への周知及び事業所責任者等へ勤務上の配慮を促した。この取組により上半期の取得率は37.1%となった(2021年度上半期の取得率25.1%)。9月には全職員の年次有給休暇取得日数の集計及び事業所別・職員個別の取得状況の確認を行った。その結果, 事業所による取得率の偏りが見られたため, 取得率が低い事業所に対して業務の進め方や年次有給休暇を取得しやすい環境づくりについての協議を行ったり, 取得率が低い職員に対して自身の取得計画表の作成を働きかけたりして計画的な取得を促した。

(4) 「同一労働同一賃金」の推進に向けた, 就業規程及び給与規程等の整備

正職員・準職員・嘱託員の働き方や賃金等における待遇差の現状について, どのような待遇差が不合理なものであり, どのような待遇差が不合理なものでないのか, 原則となる考え方について中川保子社会保険労務士にご指導いただき, 待遇

差の是正に向けた就業規程・給与規程の整備や労使協議を実施した。また、現行の労働基準法等に基づく就業規程となるよう、年次有給休暇・休職・福利厚生等の規程の見直し整備を実施した。

(5) 災害・感染症発生等緊急時に備えた職員体制やBCP(事業継続計画)の更新

台風発生等緊急時を想定して、LINE(ライン)等による緊急連絡網を活用した安否確認シミュレーションを実施した。また、感染症発生を想定した吐しゃ物処理に関するシミュレーションを各事業所で実施した。シミュレーション内容をもとに、BCP 更新に反映させている。

(6) 江田島市とのパートナーシップ深化及び総合相談推進を目的とした職員の出向

江田島市地域包括支援センターに職員2名を出向させ、高齢者等への包括的支援事業を実施した。

出向開始月	出向職員資格・人数
令和4年4月	看護師1名, 社会福祉士1名

(7) 広報誌等により事業のPR活動を積極的に実施し、住民に広く情報開示

ア 広報誌の発行

(ア) 社協だより…8月と3月に発行

(イ) しおかぜ通信(地域福祉広報誌)…毎月発行(8月と3月を除く)

(ウ) サロン通信(ふれあいサロン代表者向け)…奇数月に発行

(エ) ハマレポ(えがおえたじま応援センター会員向け)…8月に発行

イ ブログの更新

毎週金曜日にブログを更新して、不特定多数の人に、江田島市内の地域福祉活動情報を発信した。

ウ SNS(インターネット上のコミュニティサイト)の更新

人と人とをつなぐコミュニケーションツールとして、公式 LINE(ライン), Facebook(フェイスブック)及び Twitter(ツイッター)を毎週金曜日に更新して、江田島市内の地域福祉活動情報を発信した。

(8) 地域福祉ニーズに基づく効果的・革新的な事業の推進及び次世代の職員育成を目的とした「見える化」プロジェクトチームの設置と運営

ア チーム構成

(ア) 設置日…2022年4月1日

(イ) 構成員…社協内でチーム参加希望者を募り、立候補した職員 12 名

イ 運営状況

(ア) 社協活動を地域に「見える」ようにするため、新たなパンフレット作成に向けて、社協事業について勉強会を行い、方向性を決めていくために協議した。新たなパンフレットを今年度中に作成することを目指す。

(イ) 職員が業務を効率的に行うため、各事業の状況を分かりやすく「見える」ように業務のデジタル化を検討した。その一つの手法として、LINE WORKS (ラインワークス) を試験的に導入した。現在、見える化プロジェクトチーム構成員及び地域福祉課職員で利用しており、以下のメリットがあげられる。

- a 回覧物のデータ化により情報伝達が早くなり、ペーパーレス化になる
- b 会議の日程調整やアンケート等が容易で、職員の意見を反映しやすい
- c 災害発生時（シミュレーション含む）の安否連絡をする際、職員が連絡内容を見たかどうかを確認しやすくなる

2 地域福祉・総合相談支援事業の推進

(1) 権利擁護事業

「権利擁護センターえたじま」では、判断能力が低下した高齢者や障害者の権利と財産を守り地域で安心して暮らすことができるよう、支援を行った。

ア 法人による成年後見事業

成年後見制度に関する相談から申し立て、受任まで一貫した支援を実施した。

イ 福祉サービス利用援助事業「かけはし」

日常的金銭管理の支援、福祉サービス等の利用の相談支援を行った。

実績は別冊資料のとおり (P1～P2)

(2) 日常生活相談事業

ア 心配ごと相談事業

市内各地区において、心配ごと相談員（地域の民生委員・人権擁護委員・行政相談員等）が、住民の日常生活における困りごとの相談に応じた。

◆2023 年 3 月 31 日現在の心配ごと相談員数 22 人

	江田島	能美	沖美	大柿	合計
開催回数	4 回	12 回	4 回	4 回	24 回
相談件数	4 件	9 件	2 件	2 件	17 件

(前年度 7 件)

イ 専門職（弁護士）による相談会の開催

- ・開催日 7月 9日（土） 相談件数 8件
- ・開催日 11月 12日（土） 相談件数 4件
- ・開催日 3月 11日（土） 相談件数 13件

（3）ふれあいサロン事業・お茶の間サロン事業

地域住民同士が年齢も性別も関係なく、サロンでの交流を通じて、「仲間づくり」「生きがいくくり」「健康づくり」が図れるよう、サロンの運営や新規立ち上げを支援した。

ア ふれあいサロンの運営支援

訪問等による状況把握、活動のマンネリ化を防ぐため、特技ボランティアや出前講座の紹介等、サロン活動の支援を行った。

◆特技ボランティア・出前講座の様子



イ サロン通信の発行

5月・7月・1月・3月にサロン通信を発行した。他地区のサロン活動の紹介や、気軽にサロンで実施できるレクリエーション、脳トレ、間違い探し等を紹介した。

◆サロン活動の様子



ウ お茶間サロン（常設型）の運営支援

大柿町柿浦「お茶の間サロンみなとキッチン」と飛渡瀬地区「地域サロンくじら堂～よりんさいや～」の運営を支援した。

サロン定期訪問の他、月に1回世話人会議へ参加し（お茶の間サロンみなとキッチンについては、コロナ禍に伴い活動を休止した月があり、不定期で実施）

サロンの運営やサロン及び地域の課題把握・解決に向けた取り組み支援を行った。

◆世話人会議の様子

お茶の間サロンみなとキッチン



地域サロンくじら堂〜よりんさいや〜



(4) ボランティア事業（えがおえたじま応援センター）

江田島市社会福祉協議会ボランティアセンター（愛称「えがおえたじま応援センター」）において、ボランティア活動の普及・推進や市民に向けた福祉教育等、幅広く事業を実施した。

◆2023年3月31日現在のえがおえたじま応援センターボランティア登録総数

106名	内、ボランティアセンター活動のみ：10名
	内、しおかぜボランティア活動のみ：96名

ア しおかぜネットつながりづくり交流会を開催

日 付 9月12日(月)

参加者 19名（しおかぜさん16名，実習生3名）

内 容 掃除のテクニック等を紹介するセミナー

グループトーク（日頃の活動における悩みややりがい等）

◆交流会の様子



イ プラチナ大学江田島市校を4回開催

（ア）講義『「人生100年時代のキャリアプラン」 生き方の流儀』

日 時 11月10日（木）

参加者 34名

内 容 講義を通して自分史を振り返り，地域について知ることで，
地域で自分は何ができるか，グループワークを通して考えた。

(イ)活動紹介『自分の得意なことを活かしたボランティア活動』

日 時 11月24日(木)

参加者 32名

内 容 竹原市のボランティア活動紹介(コーヒーボラ・男のそば打ちボラ・おもちゃドクター)を通して、グループワークで、自分らしく地域でつながるためにできることを考えた。

(ウ)活動紹介『住民主体による移動・外出支援を考える』

日 時 12月8日(木)

参加者 37名

内 容 移動支援の活動紹介を通して、住民主体による移動支援方法などを学び、グループワークで、活動に楽しくかかわるために必要なことを考えた。

(エ)成果発表・まとめ『講座の学びを振り返り、これからの私たちができることをまとめる』

日 時 12月22日(木)

参加者 30名

内 容 これまでの振り返りを行い、社協ボランティア事業や施設・行政が求めているボランティアについての紹介を行い、自分らしい支え合い活動について考える。

◆当日の様子



ウ 孫育てセミナー(江田島市子育て支援課と共催)

日 時 12月16日(金)10:00~12:00 13:30~15:30

場 所 午前:能美市民センター 午後:大柿市民センター

参加者 午前:11名 午後11名

内 容 ・生協ひろしまLPAの会「劇団マネーズ」による寸劇
・グループワーク「孫育ての今昔談義」

◆当日の様子



エ 江田島市内におけるボランティアアンケート調査について

目的：江田島市内のボランティア募集情報を「社協ボランティアセンター」で集約し、情報を「社協HP」へ掲載することにより、ボランティア活動希望者がボランティア募集情報を入手しやすくなり、ボランティア活動の推進を図れるほか、ボランティアセンターとして、江田島市内のボランティア情報の把握と整理を行う。

回答者数：17 団体

掲載希望者数：14 件

オ 特技ボランティア

特技ボランティアとは、趣味や特技を活かすボランティアのことで、地域のふれあいサロン・福祉施設やイベント等を対象に活動している。

(ア) 登録者数：73 名（団体登録者も含む。）

・個人ボランティア：27 名 団体数：9 団体

(イ) 依頼件数：31 件

・ふれあいサロン・認知症カフェ・福祉施設・くらしサポートセンター

◆ハーモニカ演奏



◆こどもフラダンス



カ 小中学校等における福祉教育の支援

高齢者福祉・障害者福祉の基礎、江田島市の福祉の現状等についての座学や、高齢者疑似体験・車いす操作実習・地域のサロン活動への参加等のプログラムを通じて、生徒に「思いやりの心」と「ふくし」の芽を育み、地域での助け合いについて確認することを目的に、市内の小中学校等において、福祉教育の支援を行った。

(ア) 鹿川小学校 4年生 12 名

7/4(月) 座学「ふくし・視覚障害」

9/5(月) サロン訪問「グリーンクラブ」

9/6(火) 民生委員児童委員にインタビュー

9/14(水) 高齢者疑似体験

2/22(水) 座学「ふれあいサロン」

2/27(月) サロン訪問「グリーンクラブ」(児童企画1回目)

3/6(月) サロン訪問「グリーンクラブ」(児童企画2回目)

(イ) 中町小学校 4年生 20名

5/31(火) 座学「ふくし・高齢者について」

6/13(月) 高齢者疑似体験・車いす体験

10/7(金) 座学「ふれあいサロン」

12/13(火) ニコ●フェス (地域の人と交流会) (児童企画)

(ウ) 江田島小学校 4年生 30名

9/9(金) 座学「ふくし・高齢者・障害者・ユニバーサルデザイン」

10/6(木) 手話 (江田島市役所 社会福祉課 協力)

◆座学



◆高齢者疑似体験



◆車いす操作体験



◆サロン訪問



◆民生委員児童委員インタビュー



◆ニコ●フェス



(エ) 飛渡瀬地区でミニ介護教室を実施

飛渡瀬地区に住む介護者の方が、正しい介護方法を知ることによって生活がしやすくなり、介護者同士のつながりを広げることで地域の中で暮らしやすくなること、そして、地域の中で移動手段に困った方や、手助けが必要な方がいた場合、地域サロン等の集いの場で何ができるのか、集いの場の役割を改めて再確認することを目的に開催した。

場所 飛渡瀬老人集会所、江田島カフェウィングス

日時 【第1回】令和5年3月7日(火) 13:30~16:00

【第2回】令和5年3月15日(火) 13:30~16:00

参加者 【第1回】14名(江能福祉会、社協の職員4名を含む)

【第2回】13名(江能福祉会、社協の職員4名を含む)

内容 車椅子の機能、種類、様々な場面における介助方法学ぶ。
江田島カフェウィングスまで、車椅子体験。

◆ミニ介護教室の様子



キ 地区社協におけるボランティア活動の支援

江田島町 13 地区社協で実施している友愛訪問・給食配膳・敬老事業等について、事業助成(赤い羽根共同募金配分)している。

新型コロナウイルス感染症の流行で、ふれあいサロン・公民館活動など人が集まる活動が中止するなか、人と人の繋がりが切れないよう、前年度同様、可能な限り活動の継続をお願いした。

活動に際しては、「マスク着用・アルコール消毒、玄関先・外での対応に限定、手作り弁当から市販の弁当等への変更(※手作り弁当を順次再開した地区あり)」等の感染防止対策についての説明や、ガイドラインを作成し、各地区社協や地域福祉活動者へ配布した。

※感染症法上の位置付け変更・指針が示され、段階的に緩和されていく見通し(例：複数人での訪問や、手作り弁当へ戻すなど)。

◆新型コロナウイルス感染拡大防止対策を配慮した活動

(給食配膳の様子)



(訪問時の様子)



ク 高齢者介護者の会(クローバーの会)の支援

介護者同士が普段抱えている思い・課題の情報交換(勉強会含む)や心身のリフレッシュ等を目的として開催しており、近況など情報交換できる交流の場にもなっている。現在の参加者は介護者OB・OGが多くなっている。

2021 年度から新しい代表者となり 1 年が経過したが、「日々の生活の悩み相談」「勉強会(介護・認知症・筋力運動など)」や「ピクニック(※コロナ禍の状況をみて開催)」などの交流会を開催し、活発に活動を進めている。新たに悩みを抱えた介護者から、会の参加希望があり、勉強会・定例会に繋いだ。

◆活動の様子

5月：ピクニック交流会



6月：認知予防整体（勉強会）



定例会（茶話会）



（5）しおかぜネット事業

住民同士の繋がりや支え合う関係づくりを目的とした住民互助活動として、生活上の「ちょっとした困りごと」を抱えた住民の解決のお手伝いを、登録ボランティア（しおかぜさん）によって行った。

年々、しおかぜネットを利用される方は増えており、地域に根差した有償ボランティア活動となっている。依頼の内容としては、島外への通院付き添いも増えており、車椅子で船や電車などの公共交通機関する際の支援方法を習得する機会の必要性が感じられる。

しおかぜネットの活動が広く周知されていることにより、今後も幅広いケースが増加すると予想される。

- ・依頼の多い内容：ゴミ捨て、掃除、外出・通院付き添い、洗濯、話し相手。

実績は別冊資料のとおり (P3)

（6）江田島市被災者生活サポートボランティアネットワークの推進

災害発生時の被災者の生活支援等のため、平常時からのネットワークを作り、災害ボランティア活動や被災者支援に係る協議を推進してきた。

ア ITを活用した被災者生活サポートボランティアセンターの運営

広島県社協は、ボランティアセンターの運営にIT(クラウド)を活用することで、活動者の受付・活動調整等の運営業務の円滑化や県内市町との情報共有の効率化が図れるよう、サイボウズ㈱と協定を結んだ。本会においてもボランティア活動者の事前登録を始め、しおかぜ通信などで周知を行った。現在4名が事前登録している。

イ 江田島市被災者生活サポートボラネット推進マニュアルの改訂

このマニュアルでは、平常時から江田島市をはじめ関係機関や各種団体がそれぞれの役割と分担を明確にし、災害発生時には情報を共有し、迅速な支援体制に取り組むことを目的としている。また、新型コロナウイルス感染症対策とIT活用に伴い、改訂を行った。

(7) 安心生活創造推進事業

ア 「小地域テーブル会議」の開催

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、活動や会議が中止となる地域も多かったが、感染状況の減少や感染予防対策を実施し、多くの地域で開催した。

内容は、地域内のニーズ把握・ネットワーク構築や、見守り支援方法・買い物支援方法を検討するため、まちづくり協議会や自治会・民生委員・老人クラブ・女性会等の地縁組織で構成し、屋内だけでなく屋外で、「青空会議」など工夫して実施した地域もあった。

◆小地域テーブル会議の様子（情勢に応じて屋外でも開催）



イ 「えたじま見守り支援ネットワーク」の推進

地域内で、普段からの関わりや繋がりが薄く孤立しがちな方や引きこもりがちな方に対し、見守り支援員による安否確認・声掛け訪問等の活動を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響で、ふれあいサロン・公民館活動・100歳体操など人が集まる活動が中止となるなか、接点や繋がりが少なくならないようにする為、感染予防対策を講じたうえで、玄関先や距離を保ったうえで、見守り訪問をおこなった。

- ・2023年3月31日現在の利用者人数：8人⇒当ネットワーク事業で、対象者として該当する方のみ。

見守り支援員：32人（うち活動者：12人）

◆見守り訪問の様子



ウ 江田島市買い物支援事業

近隣に商店等がなく買い物弱者がいらっしゃる地域に、移動販売車で出向き、買い物ニーズの充足だけでなく、高齢者や障害者等の引きこもり防止、繋がり

の場づくりを目指して実施した。移動販売での購入が難しい場合は宅配で対応した。柿浦地区や鷺部地区では、買い物客が減少しており、今後は、場所の変更等を検討する必要がある。今年度で㈱一光が辞められたため、来年度からは移動販売業者と販売形態を変えて対応する。

実績は別冊資料のとおり (P4)

◆移動販売場所の様子（写真は柿浦地区と沖美町沖地区）



(8) 無料職業紹介事業

ア 無料職業紹介所の運営

ハローワークの求人情報を活用して、仕事を探している方と人材を求める事業所の間に立ち、それぞれのニーズの把握に努めながら就労支援を行った。また、地域人材確保推進事業との連携をとることで事業の周知を図った。

2023 年 3 月 31 日現在			2022 年度合計		
求職者数	求人数	求人倍率	相談件数	紹介件数	就職件数
61 人	255 人	4.2 倍	862 件	97 件	51 件

イ 地域人材確保推進事業

(ア) 江田島市人材確保(介護人材確保含む)等総合支援協議会の開催

広島県社協、呉ハローワーク、江田島市商工会や行政の関係者で構成する「江田島市人材確保(介護人材含む)等総合支援協議会」を開催し、事業計画・無料職業紹介所の運営方法等について協議した。

日 時：2022 年 5 月 27 日（金）13：30～14：30

場 所：能美保健センター

関係機関：7 機関 参加者：10 名

(イ) 福祉・介護の人材確保の推進

江田島市内の福祉・介護の職場の PR と、前年度作成した PR 動画（WEB 上で公開中）の周知を目的にポスターを作成し、市内各所に掲示を依頼した。

(ウ) ETAJIMA 福祉・介護の職場説明会

学生を対象に、江田島市内の医療・福祉・介護の職場説明会を開催し、実

際に働いている職員から、それぞれの職場の働き甲斐や普段の過ごし方等を含めたワークライフバランスについて説明を行った。

日 時：2022 年 11 月 26 日（土）13：00～15：00

開催方法：ZOOM を活用したオンライン形式

参加者：10 名

説明者：島の病院おおたに、誠心園、江能特養、まほろばの里沖美、江田
島市社協

（9）障害者相談支援事業（市委託事業）

「江田島市障害者生活支援センター」では、障害児や障害者ひとりひとりの状況に寄り添い、生活全般についての相談に応じ、障害福祉サービスや医療の他、社会資源等につなげる支援を保健・福祉・医療・教育・就労支援機関等と連携し実施した。

ア ピアカウンセラー養成講座

ピアカウンセリングとは、同じような立場や悩みを抱えた人たちが集まって、同じ仲間としておこなうカウンセリングのことで、相談する人が自分の力で悩みを解消できるように支援する「ピアカウンセラー」の養成講座を実施した。

（ア）ぱすてるの会（毎月第4土曜日）

主として身体障害のある仲間同士が集まり、日常生活に関する相談をお互いに協議しながら交流を深めた。5分間スピーチをもとに話を聞き合うことで、ピアカウンセリングの基本となることを目指した。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、上半期は3回開催し、延べ16名が参加した。

（イ）ピース（隔月第3土曜日）

知的、精神、身体に障害のある仲間同士が同じ目的のために集まり、お互いの障害を理解し交流を深め、協力しながら、「やってみたい」を実現できる場とし、社会福祉法人江能福祉会と合同で開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、上半期は1回開催し、9名が参加した。

（ウ）ぴあサポートサロン（隔月第3土曜日）

知的、精神、身体に障害のある仲間同士が気軽に集まり、お互いの障害を理解し交流を深めるため、誰もが楽しみながら過ごすことができる場として、江能福祉会と合同で開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、1回開催し、延べ12名が参加した。

イ 社会生活力を高める講座

生活に密着したスキルや知識の向上を目指すきっかけとなる場として「パソコン教室」を1回開催し、10名が参加した。

ウ 障害支援区分認定調査

障害の多様な特性その他の心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合いを総合的に示す障害支援区分の認定調査を、受託し実施した。

実績は別冊資料のとおり (P5)

(10) 生活困窮者支援事業（市委託事業）

「くらしサポートセンターえたじま」では、既存の制度や機関では十分に対応できない生活困窮者に対して下記ア～ウの3事業を通して包括的に受け止め、本人の尊厳と意思を十分尊重しながら、どのような支援が必要か把握し、自立のための支援プランを策定し、適切なサービスや関係機関に繋げた。

ア 生活困窮者自立支援事業

総合相談窓口として、様々な相談を受けた。丁寧なアセスメントと、課題分析を行い、事業所内での支援方針の共有を図り、自立支援相談プランの作成の他、他機関との協働支援が実施出来た。民生委員や地域の方との関わりや相談が増えてきており、事業の認知や支援の輪が少しずつ広がりを見せている。

イ 家計改善支援事業

税金滞納や公共料金支払い、負債の相談を受け支援をした。支援者が指導をするのではなく、家計プランを通して「見える化」を図り、本人が主体となって取り組めるように支援を心掛けた。

ウ 就労準備支援事業

直ちに就労が難しい人（生活リズムが崩れている、社会との関わりに不安がある、就労意欲がわからない等）を対象に、就労体験や面談等を通して生活リズムの改善を図った。

エ 新型コロナウイルス感染症による影響を受けた困窮者支援

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた方への特例貸付を実施するとともに、家計状況の見直し等の支援を行った。前年度に比べ、貸付申請者は減少傾向であった。また、特例貸付は本年の9月末で受付を終了となっている。今後の事務対応としては、償還免除・償還猶予の申請手続きや償還開始の相談対応の実施。償還免除・償還猶予を申請された方に対しては、家計改善支援等の介入を行うこととなっている。

オ 食品等の提供に関する事業

現在も継続して特定非営利活動法人 FOOT&WORK フードバンクゆるてい（安芸郡海田町）と「食品等の提供に関する合意書」を交わし、定期的に食料等を提供戴いている。それに加え、年末頃より、県社協からも朝食支援としてシリアル等を定期的に戴いている。提供品に関しては、生活困窮者支援事業の対象

者へ支援の一環として提供を行っているが、支援対象者の生活の一部として継続的に渡し続けることは困難であり、提供タイミングに関しては生活支援で介入しつつ、状況を見ながら実施している。

実績は別冊資料のとおり (P6)

(11) 江田島市地域包括支援センターランチ事業（市委託事業）

ア 総合相談支援

能美町及び沖美町における高齢者の総合相談対応を行った。また、月1回、困難事例の検討や情報共有、連携体制強化のため、江田島市包括支援センターとの連絡会議を実施した。

新型コロナウイルス感染症対策として、県内の感染レベルや『新しい生活様式』に基づいて、電話や訪問で適宜相談支援をしている。

イ 介護予防把握事業

今年度より実態把握対象者の要件が変更となり、医療機関・健診未受診で要介護認定を受けておらず、独居で集いの場に不参加の高齢者となった。能美町・沖美町で16名がリストアップされているため、今後実態把握の訪問を行っていく予定である。

ウ 介護予防の推進

いきいき百歳体操の場で、地域包括支援センター職員と協力し、参加者の体力測定の手助を行った。また、『えたじまんのつどい代表者等交流会・研修会』や『いきいきサポーター養成講座』の運営補助を行った。

実績は別冊資料のとおり (P7)

◆つどいの場（いきいき百歳体操）への参加の様子



エ 生活支援体制整備事業

多様な生活支援・介護予防サービスの充実、新たな地域資源開発、地域住民や組織のネットワーク化を目的として、既存の小地域会議を基に、地域にある資源や課題を地域の組織や住民と協議し、情報共有を行い、話し合いの場づくり（協議体づくり）を実施した。協議体づくりは、地域共生社会を進めるきっかけになっており、地域住民や専門職が「自分達が住む地域を、これからどのよ

うにしていくなか？」等の話し合いを進めることで、プラットフォーム化(環境整備・基盤づくり)を推進している。前年度まで、新型コロナウイルス感染症の影響が多くあり、地域活動が中止と再開を繰り返していた。

(ア) 協議体の設置

地域の現状(資源・課題等)について、地域の組織や住民が話し合える場(協議体)を設置・推進した。協議をおこなう場として、屋内に限らず屋外で「青空会議」を開催し、話し合いをすすめた。

マッピングから地域踏査をして地域に見える化を図り、「災害」を切り口にした話し合いを行い、普段からの地域内での支え合い活動について協議した。

[協議内容・取り組みの一例]

- ・ 民生委員エリアマップ確認及びハザードマップとの突合
- ・ 災害時の土砂災害危険箇所や避難体制について
- ・ 買い物困難者について
- ・ 担い手について
- ・ コロナ禍における地域の行事存続・再開調整について

◆協議体や地域活動(マッピング・地域踏査含む)の取り組みの様子



(イ) 新型コロナウイルス感染症拡大によるニーズ対応

新型コロナウイルス感染拡大防止のポイント(3密の回避や飲食・調理を実施する際の注意点、マスク着用時の熱中症予防等)を整理した地域福祉活動ガイドラインを作成した。ふれあいサロン参加者・地区社協・しおかぜ活動者・見守り支援員等に配付し説明した。

(ウ) 自治会連合会・まちづくり協議会・地区民生委員児童委員協議会定例会の参加

定期的に会合に出席し、情報提供・意見交換等を行い、連携・協働の体制づくりに向けた働きかけを行った。

(エ) 地域ニーズ調査

日常生活の様子や課題(不安・心配・不便等)を把握するため、民生委員児童委員や地域ボランティア活動者と実施。結果を基に、地縁

組織・関係機関の方々と協議し、地域資源の開発や、助け合い活動のきっかけづくりとして、生活実態把握ニーズ調査を実施した。

実施地区：三高（三吉・高祖・美能）地区・鷺部地区。

調査内容：普段の買い物（食料品・日用品）の状況

買い物困難者の把握

外出・移動の状況（医療機関含む）

社会的な繋がり・交流の状況

地域内で必要と思われる「取り組み」や「サービス」

◆調査・報告時の様子



(オ) 社会資源情報の把握・見える化

高齢者や日常生活にバリアがある方向けに、生活支援に関する情報を収集（例：弁当配達・灯油配達してくれる業者など）し、「えたじまのくらし楽々ブック」を更新し、情報提供した。

・更新時期：毎年度末頃

⇒各圏域の生活支援コーディネーター（誠心園・江能・市社協）が調査・収集し、市地域包括支援センターが取りまとめる。

(カ) 居場所づくりの後方支援・情報収集（発信）

住民一人ひとりの「居場所・行ける場所・役割が持てる場所など」の確認や、居場所づくり・交流のきっかけづくりのイベント等の後方支援をおこなった。

[活動の一例]

・移住者と地域住民を繋ぐ場づくりの後方支援（コミュニティスペースフウド）。

・こども（地域）食堂 おおばらかぞく家食堂の運営支援。

・各地域の集まり（井戸端会議・茶話会）の情報収集・発信。

⇒麻雀の会，パン倶楽部(茶話会)，公園清掃の会，編み物の会，朝散歩の会，しめ縄づくり行事（小地域活動），農園の茶話会など。

◆後方支援・情報収集の様子

・移住者と地域住民をつなぐ場
(コミュニティスペースフウド)



・パン倶楽部



・おおばらかぞくや食堂



3 在宅福祉事業の実施

(1) 介護保険サービス事業

ア 居宅介護支援事業（江田島市社協居宅介護支援事業所）

介護支援専門員 10 名（R4 年 4 月～12 月常勤 10 名，R5 年 1 月～3 月常勤 9 名・非常勤 1 名）により，要介護認定のための訪問調査の受託，居宅サービス計画の作成（ケアプラン）等居宅介護支援事業を実施した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、『新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策について』『新型コロナウイルス感染症に感染した利用者等が発生した場合の取組』等のマニュアルを作成し実施している。また，サービス提供事業所の営業縮小・中止を受け，代替サービスの調整や，利用者・介護者の精神的なケアを行った。

職員の資質向上について，事業所内研修やオンライン研修等を行い，サービスの質の向上と働き方改革に努めた。また，2020 年度に作成したマニュアル『新任ケアマネのための OJT』を活用して新人ケアマネ 1 名に対し OJT（職場での実践を通じて業務知識を身につける育成手法）を実施し，サービスの質の向上と平準化を図った。

実績は別冊資料のとおり (P8)

イ 訪問介護事業（江田島市社協訪問介護事業所）

要介護者に対し，訪問介護員（ヘルパー）が訪問し，入浴や清拭等の身体介護や，掃除・洗濯等の生活援助を提供した。また，24 時間定期巡回サービスを実施している施設から，一部サービス提供を受託した。

新型コロナウイルス感染症流行に伴い，濃厚接触者への訪問が増えたが，感染予防対策を徹底してサービスを継続した。

事業所内ミーティングでは，要介護者への支援内容の改善，法令遵守や接遇

に関する研修等を行い、サービスの質の向上と働き方改革に努めた。

実績は別冊資料のとおり (P9)

ウ 通所介護事業

江田島市社協のうみ通所介護事業所及び江田島市社協おおがき通所介護事業所への通所により、入浴、食事、機能訓練の他、歯科衛生士による口腔ケア等、利用者の自立（機能の維持等）を目的とした支援を実施し、感染BCPに基づいて業務を行った。しかし、コロナ感染症の影響により、おおがき通所介護事業所では、年末3日間の休業があった。

事業所内ミーティングでは、業務内容の見直しを行い、利用者への支援方法の検討を行い、サービスの質の向上など業務改善に取り組んだ。

実績は別冊資料のとおり (P10)

エ 福祉用具貸与及び販売事業（江田島市社協福祉用具貸与事業所）

車椅子・介護用ベッド等の福祉用具貸与や、ポータブルトイレ・入浴補助用品等の特定福祉用具販売を、介護機器販売業者とタイアップして事業を実施した。要介護者の中には、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、通所介護や訪問入浴サービスを自粛する方があり、入浴補助用具（シャワーチェア・グリップ・浴槽台）等の注文が増加した。

実績は別冊資料のとおり (P11)

(2) 「介護予防・日常生活支援総合事業」実施に向けての協力

要支援者（要介護認定で「要支援1」もしくは「要支援2」の認定を受けた高齢者）に対するサービスが市町事業になり、多様なニーズに対するサービス求められるようになったため、利用者が在宅で安心してできるように、以下のサービスを実施した。

ア 訪問介護相当サービス（江田島市社協訪問介護事業所）

イ 通所介護相当サービス（江田島市社協のうみ通所介護事業所）

（江田島市社協おおがき通所介護事業所）

実績は別冊資料のとおり (P9～10)

(3) 障害福祉サービス事業

ア 計画相談支援・障害児相談支援事業（江田島市障害者生活支援センター）

相談支援専門員3名によりサービス等利用計画（プラン）の作成等、特定相談支援・障害児相談支援事業を実施した。新型コロナウイルス感染拡大期間は、電話でのモニタリング、玄関先での対応を提案し、感染対策に努めた。

障害児相談支援事業は、発達障害があると思われる児童の診断が増加して、

児童系の障害福祉サービス利用を希望される方が増加している。前年度から他法人の事業所での相談対応が可能になったため、対象者には事業所を選択できることなど情報提供している。

実績は別冊資料のとおり (P5)

イ 生活介護、就労移行支援、就労定着支援、就労継続支援B型事業

(自立支援センターあおぞら)

(ア) 福祉事業活動

a 生活介護事業

排せつ・食事等の介護、生産活動その他必要な援助など、常時介護を必要とする障害者に必要なサービスを提供した。

b 就労移行支援事業

一般就労が可能と見込まれる障害者に、就労に必要な知識や能力向上に必要な訓練(報連相の練習、タイピング練習等)、求職活動や職場体験の支援(面接練習、作文練習、職場実習等)、一般就労後の就労定着(6か月以上継続勤務)のための面談やメール相談など必要なサービスを提供した。

(2022年度までの就労定着率は42%)

就労移行支援一般就労実績(就労開始日)	人数
2022年7月1日	1名
2022年8月10日	1名
2023年1月4日 (※トライアル雇用の為、2023年4月から本契約)	1名
2023年3月16日	1名

c 就労定着支援

就労移行支援等を利用して、通常の事業所に新たに雇用された障害者の就労の継続を図るため、企業や関係機関等との連絡調整、雇用に伴う問題に関する相談や指導等の支援を行った。今年度から事業を始め、現在4名に対して就労定着支援を行っている。

d 就労継続支援B型事業

一般就労が困難な障害者に、生産活動の提供、日常生活や就労に必要な知識及び能力の向上のために必要なサービスを提供した。

(イ) 就労支援活動

灯籠作り、貝殻通し、空缶回収、施設外就労(市役所清掃作業)、その他の作業を実施した。生活困窮者支援事業と連携した施設外作業等は、下記の2点を目的としている。

- a 地域の困りごとに対して直接役立つことで、利用者の自己肯定感向上
- b 地域住民に対して、障害のある方への関心・理解を深めていただく。

実績は別冊資料のとおり (P12)

ウ 居宅介護事業（江田島市社協訪問介護事業所）

障害者の居宅において、ヘルパーが入浴、排せつ等の身体介護、調理、洗濯及び掃除等の家事援助、相談及び助言等の援助を実施した。

事業所内ミーティングでは、個人情報やプライバシー保護の重要性、ヘルパーによる支援の差を解消するため援助内容の統一について検討した。

実績は別冊資料のとおり (P9)

エ 日中一時支援事業（江田島市社協おおがき通所介護事業所）

通所により、入浴、食事提供、機能訓練等を必要とする障害者等に対してサービスを提供した。

実績は別冊資料のとおり (P10)

（４）江田島市老人福祉施設等連絡協議会の事務局としての機能強化

連絡協議会の事務局として会員相互の連携・人材確保・研修等を実施することはもとより、社協が「地域包括ケア体制」の中核組織としての機能を担えるよう機能強化を図るため、下記を実施した。

ア 会議及び研修の開催

（ア）総会…令和３年度実績報告及び令和４年度事業計画について協議した。

（５/10）

（イ）役員会…物価高騰による江田島市への陳情書提出等について協議した。

（８/17， 12/22）

（ウ）自立支援介護研修…前年度に引き続き、江田島市の介護力を向上させるための研修（全４回）を実施した。

（９/７， ９/16， 10/３， 10/４）

イ その他

物価高騰による老人福祉施設等への負担を軽減するため、補助に関する陳情書を江田島市へ提出した。その後、江田島市社会福祉施設等支援金が創設され、令和４年９月１２日に施行された。江田島市内の社会福祉施設等に１０月と３月の２回支援金が支給された。

コロナ感染症の影響で中止となったが、施設連会員施設へ大柿高校の生徒の職場体験の調整をおこなった。

ケアマネジャー連絡協議会による総会・役員会を実施し、主任ケアマネ法定外研修を１回実施。（７/５）

4 その他の事業

(1) 貸付事業の実施

ア 生活福祉資金の貸付

低所得世帯の自立更生を促進するため、必要な資金を貸し付けた。

年度当初貸付	新規貸付	償還免除	償還終了	2023年3月末 合計
6件	0件	0件	0件	6件

イ 緊急小口資金等の特例貸付

コロナ禍の影響を受け、収入減・失業となった生活困窮者に対し、緊急小口資金や緊急総合資金を貸し付けた。

【各種特例貸付要件等】※令和4年9月末にて全ての特例貸付は終了

	小口貸付	総合貸付(初回貸付)
貸付対象者	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸し付けを必要とする世帯。	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯。
貸付上限	学校等の休業、個人事業主等の特例の場合、20万円以内。 その他の場合、10万円以内。	(単身) 月15万円以内 (2人以上) 月20万円以内
貸付期間		原則3か月以内
据置期間	1年以内	1年以内
償還期限	2年以内	10年以内
貸付利子	無利子	無利子

【各種特例貸付件数及び貸付額】

	小口貸付	総合貸付(初回貸付)	合 計
貸付件数(件)	4	1	5
貸付額(円)	600,000	600,000	1,200,000

ウ 緊急一時資金の貸付け事業

低所得世帯に対し、緊急に必要な資金を貸し付けた。

江田島	能美	沖美	大柿	合計
3件	1件	0件	5件	9件

(前年度 17件)

(2) 福祉人材育成

ア 社会福祉士等養成のための実習(地域総合型学習等)

江田島市に長期滞在しながら、社会福祉士として必要な知識と技術を総合的に体得するための現場実習指導を実施した。

実習生：川崎医療福祉大学 医療福祉学科 3年生 2名

広島国際大学 医療福祉学科 3年生 1名

期 間：2022年8月15日(月)～9月15日(木)

※今年度の宿舎は、能美町中町地区の「自然体験トカランド」
及び「NORA」の民宿に依頼。

対象地域：江田島町切串地区 他

実習内容：実習の心構え・マナー及び江田島市内の取り組みを学習

高齢者・障害者施設訪問及び専門職へインタビュー

相談支援実習（インテーク～アセスメント～プランニングまで）

地域実習：（主に切串地区）

- ・地域踏査，インタビュー，マッピング等から地域アセスメント
- ・実習生企画実施（※今年度初）

→「ふれあいサロン もも組」でのレクリエーションや交流
プログラムを企画実施

→「地域座談会」を開催し，切串地区の強みと弱みなどを
聴き取り

（アイスブレイクや，会全体のファシリテーション・
まとめのプレゼンテーション実施）

地域アセスメントから小地域福祉活動計画の企画立案

個別支援～地域支援を交えた地域生活支援の展開・考察

実習報告会：実習まとめ報告

◆現場実習の様子



イ 中学生の職場体験実習（キャリアスタートウィーク）

前年度と同様，生徒からの実習希望は無かった。

(3) 事故・苦情等の状況

【事 故 発 生 状 況】

事故内容（介護・障害）	件数	事故内容（車両関係）	件数
転倒・転落・ずれ落ち	6 件	物損事故（同乗有）※1	3 件
事故等による怪我	4 件	物損事故（同乗無）	12 件
急病	1 件	人身事故※2	1 件
施設設備破損※1	1 件	合計	16 件
その他	1 件	※1 利用者宅周辺でのバック中カーブ走行中の物損事故。利用者・職員に怪我なし。 ※2 自立支援センター利用者が運転するバイクと車両との接触事故。利用者・車両運転者に怪我なし。	
合計	13 件		
※1 草刈り作業中に、付近に駐車していた社協車両に小石が飛んで車両窓ガラスを破損。			

【苦 情 等 受 付 状 況】

苦情等の内容区分	件数	備 考
◆サービスに関する事項	4 件	◆その他の事項詳細 ・緊急時の連絡手段 1 件 （土日でもすぐに連絡が取れる体制を作ってほしい）
◆個人の嗜好・選択に関する事項	0 件	
◆制度施策法律に関する事項	0 件	
◆その他の事項	1 件	
合計	5 件	

2022年 度

事 業 報 告 書

別 冊 資 料

期 間 ： 自 2022年 4月 1日 至 2023年 3 月 31日

社 会 福 祉 法 人 江 田 島 市 社 会 福 祉 協 議 会

2022 年度 権利擁護センターえたじま事業実績

自 2022 年 4 月 1 日 至 2023 年 3 月 31 日

1 成年後見制度に関する相談件数

区分	認知症 高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	計
問い合わせ 相談	4 8	4	1 3	0	6 5

(前年度 6 5)

2 福祉サービス利用援助事業（かけはし）に関する相談件数

区分	認知症 高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	計
問い合わせ 相談	7 2	1 5	1 3	0	1 0 0

(前年度 5 7)

3 法人後見事業利用者支援件数

区分	認知症 高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	任意後見	計
利用者数（人）	8	3	3	4	1 8
延件数（回）	2 4 3	1 0 1	1 0 0	8 4	5 2 8

(前年度 5 5 0)

4 福祉サービス利用援助事業（かけはし）利用者支援件数

区分	認知症 高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	計
利用者数（人）	3 1	2 3	1 6	1	7 1
延件数（回）	1, 5 1 1	1, 2 0 8	8 7 5	1 8	3, 6 1 2

(前年度 3, 0 4 5)

2022年度 成年後見・かけはし受任件数の推移

(各年度3月末現在の件数)

種別	項目	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	2019	2020	2021	2022	合計
法定後見	年度当初受任件数	0	1	3	6	9	10	10	16	17	17	18	18	15	14	10	11	10	—
	新規受任件数	1	2	4	4	2	4	8	4	2	2	4	2	4	0	5	1	3	52
	終了件数	0	0	1	1	1	4	2	3	2	1	4	5	5	4	4	2	3	42
	年度末受任件数	1	3	6	9	10	10	16	17	17	18	18	15	14	10	11	10	10	—
任意後見	年度当初契約件数	0	0	0	0	1	1	2	3	3	4	4	4	4	3	4	4	4	—
	新規契約件数	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	5
	終了件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	年度末契約件数	0	0	0	1	1	2	3	3	4	4	4	4	3	4	4	4	4	—
	内発動者数(再掲)															1	1	1	—
かけはし	年度当初契約件数	1	1	2	6	13	18	34	36	45	54	67	73	70	67	65	64	66	—
	新規契約件数	1	1	4	8	8	19	13	20	19	21	18	10	11	6	13	9	14	195
	終了件数	0	0	0	1	3	3	11	11	10	8	12	13	14	8	14	7	9	124
	年度末契約件数	1	2	6	13	18	34	36	45	54	67	73	70	67	65	64	66	71	—

2022年度 しおかぜネット（オール広島ささえあいネット）事業実績

自 2022年4月1日 至 2023年3月31日
単位：件

	依頼者数	性別依頼者数		依頼総件数	町別依頼件数				内 容 別 依 頼 件 数										活 動 実 績				
		男性	女性		江田島	能美	沖美	大柿	掃除	買い物	調理	洗濯	話し相手	見守り	外出付添 通院付添	草取り	ゴミ捨て	その他	活動	お断り	保留	他	
4月	55	14	41	137	51	32	18	36	48	2	0	14	10	0	11	4	31	17	125	1	1	10	
5月	56	11	45	154	50	40	16	48	47	7	1	11	16	0	22	3	37	11	136	5	0	13	
6月	52	14	38	149	42	44	22	41	50	13	0	10	17	0	9	8	30	12	135	0	0	14	
7月	60	15	45	155	44	50	22	39	51	5	0	9	19	1	15	7	37	11	137	3	0	15	
8月	72	21	51	185	56	55	18	56	71	3	0	9	17	1	11	8	48	17	149	2	1	33	
9月	61	15	46	167	45	56	20	46	61	4	0	9	19	5	11	4	42	12	151	6	0	10	
10月	62	19	43	164	56	44	21	43	55	7	4	8	22	4	11	3	41	9	150	2	0	12	
11月	55	15	40	152	62	34	18	38	61	6	7	8	13	4	9	4	35	5	140	1	1	10	
12月	68	20	48	162	60	40	19	43	62	9	5	8	19	0	11	2	41	5	147	1	0	14	
1月	50	14	36	148	67	32	15	34	60	13	2	8	14	1	9	2	35	4	126	0	4	18	
2月	50	14	36	141	64	30	15	32	61	7	2	8	15	0	5	1	39	3	132	0	0	9	
3月	57	18	39	175	76	49	15	35	61	6	2	10	20	0	9	2	44	21	158	0	0	17	
合計	698	190	508	1,889	673	506	219	491	688	82	23	112	201	16	133	48	460	127	1,686	21	7	175	

(前年度 依頼総件数 1,428)

(前年度 しおかぜ活動実績 1,211)

2022年度 江田島市買い物支援事業実績

自 2022年4月1日 至 2023年3月31日

販売業者	株式会社 一光								後河内 ストア	全 域 合 計
	秋月	幸ノ浦	宮ノ原	鷺部	大須	柿浦	深江(大附)	小用	沖	
販売地区										
稼働日数 (単位:日)	89	44	44	89	44	47	89	50	543	546
延べ来客者数 (単位:人)	1,342	138	1,255	453	270	371	161	1,438	2,422	8,150
平均来客者数 (単位:人/日)	15	3	29	5	6	8	3	16	48	15
売上 (単位:円)	2,090,950	247,175	1,320,235	685,580	383,845	516,175	234,350	2,323,740	4,749,998	13,229,137
平均客単価 (単位:円/日)	1,558	1,791	1,052	1,513	1,422	1,391	1,456	1,616	1,961	1,623

2022年度 江田島市障害者生活支援センター事業実績

自 2022年4月1日 至 2023年3月31日

1 障害者相談支援事業（市委託事業）実績

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (※)
障害者	110	93	103	91	78	85	99	88	80	99	104	84	1,114
障害児	18	17	6	10	7	13	7	3	6	10	14	11	122
合 計	128	110	109	101	85	98	106	91	86	109	118	95	1,236

(※) 計画相談支援・障害児相談支援事業の人数を含む

前年度 1,261

支援内容	福祉サービスの利用等	障害や病状の理解	健康医療	不安解消 情緒安定	保育教育	家族関係 人間関係	会計・経済	生活技術	就労	社会参加 余暇活動	権利擁護	その他	計
件 数	601	172	883	1,079	34	319	575	1,005	220	463	14	0	5,365

前年度 5,752

(主催講座・派遣等)

ピアカウンセラー養成講座（ぴあサポートサロン、ピース）10回

ピアカウンセラー養成講座（ばすてるの会♪）11回

社会生活力を高める講座 4回

理解促進研修・啓発事業 2回

障害支援区分認定調査 50件（江田島市22件、江田島市外28件）

2 計画相談支援・障害児相談支援事業実績

単位：件

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者	新規	1	2	0	2	1	1	3	2	1	2	1	2	18
	更新	6	5	5	1	5	3	4	5	2	4	5	5	50
	モニタリング	16	22	20	25	23	18	25	23	17	29	22	21	261
	小計	23	29	25	28	29	22	32	30	20	35	28	28	329
障害児	新規	1	0	1	0	3	0	1	1	0	0	1	0	8
	更新	14	1	2	0	2	3	4	1	2	1	3	5	38
	モニタリング	1	1	2	2	4	13	1	3	2	3	5	6	43
	小計	16	2	5	2	9	16	6	5	4	4	9	11	89
合 計		39	31	30	30	38	38	38	35	24	39	37	39	418

前年度 385

(年間加算回数)

単位：回

加算名	初回	入院時情報連携	退院退所	居宅連携	医療連携	集中支援加算
請求数	26	3	0	0	0	8
加算名	会議実施	サービス提供時モニタリング	行動障害支援体制	精神障害者支援体制		
請求数	9	355	418	418		

2022 年度 くらしサポートセンターえたじま事業実績

自 2022 年 4 月 1 日 至 2023 年 3 月 31 日

1 新規相談件数

	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代～	不明	受付 総数
件数	0	0	2	8	18	22	1	51

(前年度 52)

2 新規相談経路

	本人 来所	本人 電話	家族 来所	家族 電話	関係機関 から連絡	自立相談 支援機関 が把握	計
件数	6	12	1	2	30	0	51

3 新規相談内容（複数回答）

	病気 健康 障害 介護	収入 生活費	債務 借金	仕事 就職	その他	計
件数	34	44	58	15	32	183

4 支援方法（新規・継続）

	電話相談 連絡	訪問 同行支援	面談	支援調整会議 以外の会議	他機関と 電話連絡 協議 会議	計
件数	848	377	191	10	818	2,244

5 相談結果（新規）

	情報提供相談対 応のみで終了	他制度・他機関 へつなぎ	本人未同意 同意に向け取組む	継続支援	プラン作成	計
件数	12	8	24	4	3	51

6 プラン作成件数（新規・継続含む）

	自立支援事業	家計改善支援事業	就労準備支援事業
件数	23	12	12

※実人数 23 件

7 就労実績（相談を受け付け、プランの有無に関わらない）

	正社員	アルバイト・パート (社保有)	アルバイト・パート (社保無・不明)
件数	6	1	10

2022年度 地域包括支援センターブランチ事業実績

自 2022年4月1日 至 2023年3月31日

月	相談実績等					身体状況別相談実人数					世帯状況別相談実人数				初回相談経路別相談実人数					
	開所 日数	相談 実人数	相談 延人数	訪問 実日数	訪問 実回数	寝たきり	認知症	虚弱	その他	計	独居	高齢者 世帯	その他 の世帯	計	本人	家族	民生 委員	関係 機関	その他	計
4月	20	13	31	7	15	0	3	0	10	13	11	1	1	13	0	2	2	9	0	13
5月	19	17	37	12	28	0	5	1	11	17	10	3	4	17	1	2	4	10	0	17
6月	22	21	68	16	36	0	8	3	10	21	13	2	6	21	1	3	8	9	0	21
7月	20	15	33	7	15	0	5	3	7	15	10	2	3	15	1	4	3	7	0	15
8月	22	14	60	13	19	0	5	2	7	14	9	4	1	14	0	3	3	8	0	14
9月	20	17	61	14	28	0	7	1	9	17	10	5	2	17	0	4	4	9	0	17
10月	20	22	87	15	32	0	6	1	15	22	14	3	5	22	1	2	7	12	0	22
11月	21	21	80	16	33	0	6	1	14	21	13	6	2	21	3	2	2	14	0	21
12月	20	25	92	17	41	0	6	0	19	25	17	6	2	25	3	5	2	15	0	25
1月	19	25	101	18	40	0	8	2	15	25	13	7	5	25	2	4	2	14	3	25
2月	19	25	102	18	53	0	8	1	16	25	11	7	7	25	1	6	5	12	1	25
3月	22	23	79	17	32	0	5	0	18	23	16	4	3	23	1	2	5	13	2	23
合計	236	238	831	170	372	0	72	15	151	238	147	50	41	238	14	39	47	132	6	238

その他は『骨折』『がん』『心疾患』『脳疾患』
 『気になるから行ってほしい』など
 その他は兄弟、子ども、甥などと同居

(前年度 162)
 その他は近隣住民(元民生委員)

2022年度 居宅介護支援事業実績

1 介護度別利用実人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
要支援1	17	18	16	13	16	15	15	15	14	15	13	14	181	4.6%
要支援2	21	23	24	24	23	24	23	21	19	20	19	19	260	6.6%
要介護1	104	100	105	101	102	109	107	103	103	98	100	101	1,233	31.5%
要介護2	80	84	82	87	77	81	78	80	82	79	75	75	960	24.5%
要介護3	58	57	58	60	61	58	59	58	52	55	54	55	685	17.5%
要介護4	34	35	33	36	35	37	36	39	41	38	37	37	438	11.2%
要介護5	17	14	15	15	13	14	13	11	10	10	12	10	154	3.9%
計	331	331	333	336	327	338	331	327	321	315	310	311	3,911	100%

月平均利用実人数 325.9 人 介護支援専門員(CM) 10名 32.6 人/CM (前年度 4,083)

2 介護報酬算定関係

(1) 算定件数(居宅Iで算定)

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
件数	313	310.5	313	320	304.5	318.5	312	309	305	297.5	294	294.5	307.6

(2) 加算

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
初回	9	3	11	4	4	7	5	5	3	4	4	7	66
退院退所Ⅰイ (カンファ無)	0	1	0	1	0	3	0	0	0	2	0	0	7
退院退所Ⅰロ (カンファ有)	3	5	3	2	0	1	0	4	4	2	0	4	28
退院退所Ⅱイ (カンファ無)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院退所Ⅱロ (カンファ有)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
退院退所Ⅲ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院情報連携Ⅰ	3	10	2	3	0	6	2	8	2	1	0	1	38
入院情報連携Ⅱ	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	3
ターミナルケア マネジメント	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急時等居宅 カンファレンス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通院時情報連携	1	2	1	1	2	1	1	0	3	0	1	0	13

特定事業所Ⅱ 主任CMを1人以上配置，利用者情報等伝達等の会議を定期的開催，包括等実施の事例検討会等参加，24時間連絡体制と利用者等の相談対応体制確保，CM1人当たり利用者平均件数40件未満，等12項目の要件を満たすことで算定できる加算

3 要介護認定調査

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
認定調査実施件数	11	12	7	9	4	12	15	7	8	3	14	20	122

4 新規相談・一般相談等の実人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	10	12	9	16	11	13	12	6	8	11	8	11	127

2022年度 訪問介護事業実績

1 介護保険サービス

(1) 介護度別利用実人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
総合事業														
要支援 1	14	15	15	15	13	13	14	15	15	16	15	14	174	12.0%
要支援 2	17	16	17	17	17	17	17	17	15	14	16	17	197	13.5%
介護保険														
要介護 1	43	40	40	40	35	38	37	36	36	34	29	32	440	30.2%
要介護 2	31	29	29	31	31	30	31	29	29	27	24	22	343	23.6%
要介護 3	18	18	16	17	16	15	16	16	15	14	15	11	187	12.8%
要介護 4	5	5	5	5	6	7	8	7	7	6	5	5	71	4.9%
要介護 5	4	4	5	5	4	4	3	3	3	3	3	3	44	3.0%
計	132	127	127	130	122	124	126	123	120	114	107	104	1,456	100%

月平均利用実人数 121.3 人

(前年度 1,625)

(2) 介護度別利用延べ回数

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
総合事業														
要支援 1	63	61	68	64	58	67	68	73	71	73	71	74	811	6.5%
要支援 2	96	86	109	96	95	95	95	87	71	71	71	96	1,068	8.6%
介護保険														
要介護 1	361	308	351	341	323	317	331	333	324	290	275	313	3,867	31.0%
要介護 2	290	281	290	293	335	279	255	251	234	233	194	193	3,128	25.1%
要介護 3	205	180	176	195	188	164	172	127	123	123	118	111	1,882	15.1%
要介護 4	83	87	80	74	97	80	99	98	83	55	54	62	952	7.6%
要介護 5	71	73	122	96	65	49	45	47	45	46	42	46	747	6.0%
計	1,169	1,076	1,196	1,159	1,161	1,051	1,065	1,016	951	891	825	895	12,455	100%

月平均利用延べ件数 1,038 回

(前年度 14,441)

2 障害福祉サービス

(1) 利用実人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
居宅介護	14	14	14	15	19	18	19	20	20	15	18	21	207
合計	14	14	14	15	19	18	19	20	20	15	18	21	207

月平均利用実人数 17.3 人

(前年度 174)

(2) 利用延べ回数

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
居宅介護	98	88	100	116	129	117	122	125	119	100	106	128	1,348
合計	98	88	100	116	129	117	122	125	119	100	106	128	1,348

月平均利用延べ件数 112.3 回

(前年度 1,439)

3 委託(他法人が提供する24時間定期巡回サービスへの応援)

応援訪問回数

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
江 能	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
吉 田	9	7	9	9	8	1	2	9	3	4	4	5	70
合計	12	8	9	9	8	1	2	9	3	4	4	5	74

月平均応援訪問回数 6.2 回

(前年度 221)

2022年度 通所介護事業実績

1 のうみ通所介護事業所

(1) 介護度別利用者実人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
総合事業														
要支援1	7	7	7	7	6	7	6	6	6	6	6	6	77	8.2%
要支援2	16	16	17	17	17	17	18	15	14	13	14	14	188	20.0%
介護保険														
要介護1	25	25	28	27	26	24	23	25	23	18	17	14	275	29.2%
要介護2	19	19	15	18	17	18	17	18	17	16	14	13	201	21.3%
要介護3	12	10	13	14	11	13	14	12	11	11	13	10	144	15.3%
要介護4	6	6	4	3	3	4	3	3	1	2	2	1	38	4.0%
要介護5	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	19	2.0%
計	87	85	86	88	82	85	83	80	73	67	67	59	942	100%

月平均利用実人数 78.5 人

(前年度 1,008)

(2) 介護度別利用延べ人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
総合事業														
要支援1	30	21	27	29	21	30	23	24	23	24	22	27	301	4.6%
要支援2	104	97	119	114	122	113	122	111	94	92	92	113	1,293	19.6%
介護保険														
要介護1	142	147	186	211	196	184	184	179	163	134	119	104	1,949	29.6%
要介護2	159	140	120	134	166	133	154	155	136	124	99	116	1,636	24.8%
要介護3	82	62	116	112	105	103	110	99	91	89	81	66	1,116	16.9%
要介護4	24	22	16	14	11	26	26	15	8	10	9	9	190	2.9%
要介護5	11	11	12	13	13	14	8	3	4	4	4	5	102	1.5%
計	552	500	596	627	634	603	627	586	519	477	426	440	6,587	100%

月平均利用延べ人数 548.9 人

(前年度 6,953)

2 おおがき通所介護事業所

(1) 介護度別利用実人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
総合事業														
要支援1	7	7	7	6	5	5	5	6	5	6	7	7	73	8.6%
要支援2	3	3	3	3	3	6	6	6	5	10	8	7	63	7.4%
介護保険														
要介護1	25	23	24	24	21	22	23	21	21	21	22	21	268	31.6%
要介護2	14	15	17	17	16	17	15	16	15	16	19	14	191	22.5%
要介護3	11	11	11	11	11	14	13	16	16	14	15	14	157	18.5%
要介護4	3	3	3	3	4	5	5	4	5	4	4	4	47	5.5%
要介護5	5	5	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	51	6.0%
計	68	67	69	69	64	73	71	73	71	75	79	71	850	100%

月平均利用実人数 70.8 人

(前年度 796)

(2) 介護度別利用延べ人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
総合事業														
要支援1	28	24	28	22	22	18	18	24	13	19	27	28	271	4.3%
要支援2	22	17	22	22	16	33	41	38	30	39	45	50	375	6.0%
介護保険														
要介護1	183	153	191	164	160	160	164	148	121	143	144	158	1,889	30.5%
要介護2	120	114	131	150	148	137	145	132	102	119	126	118	1,542	24.9%
要介護3	107	97	105	118	107	116	111	137	104	112	115	137	1,366	22.0%
要介護4	10	17	17	23	23	22	30	23	18	18	22	23	246	4.0%
要介護5	52	46	37	38	48	41	52	47	40	36	33	43	513	8.3%
計	522	468	531	537	524	527	561	549	428	486	512	557	6,202	100%

月平均利用延べ人数 516.8 人

(前年度 6,107)

(3) 障害者日中一時支援

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者	19	17	18	18	19	15	6	11	12	9	10	12	166

月平均利用延べ人数 13.8 人

(前年度 227)

2022年度 福祉用具貸与・販売事業実績

1 福祉用具貸与事業実績

(1) 介護度別利用実人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
要支援1	39	39	41	39	41	40	38	37	37	37	38	41	467	9.9%
要支援2	63	65	65	68	70	72	72	75	70	66	68	67	821	17.4%
要介護1	99	94	101	105	102	100	92	89	91	95	92	91	1,151	24.5%
要介護2	88	88	85	91	90	90	96	93	94	97	92	92	1,096	23.3%
要介護3	57	56	61	59	61	59	59	65	61	62	61	60	721	15.3%
要介護4	25	25	22	24	24	28	30	29	31	28	28	32	326	6.9%
要介護5	14	13	11	12	10	11	10	9	9	9	8	8	124	2.5%
計	385	380	386	398	398	400	397	397	393	394	387	391	4,706	100%

月平均利用実人数 392.2 人

(前年度 4,575)

(2) 福祉用具別利用実績

単位：台

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
車椅子	67	70	70	72	66	71	68	71	74	67	71	74	841	8.6%
特殊寝台	103	106	104	103	99	106	108	111	114	105	108	108	1,275	12.6%
床ずれ防止用具	22	20	19	20	17	18	18	17	21	20	20	22	234	2.7%
体位変換器	9	6	5	6	4	5	4	2	5	6	6	5	63	0.8%
手すり	479	460	461	467	473	487	492	504	486	462	475	467	5,713	39.8%
スロープ	143	148	146	151	141	139	137	144	147	136	137	145	1,714	15.2%
歩行補助関連	208	207	213	219	218	218	212	218	210	211	215	213	2,562	18.3%
徘徊感知機器	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	18	0.8%
移動用リフト	10	10	9	10	10	10	9	8	9	8	8	9	110	1.2%
計	1,042	1,028	1,028	1,049	1,029	1,055	1,050	1,077	1,068	1,017	1,042	1,045	12,530	100%

(前年度 11,874)

(3) 介護保険適用外福祉用具利用実人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	29	32	33	34	37	37	38	35	37	37	37	39	425

月平均利用実人数 35.42 人

(前年度 361)

(4) 介護保険適用外福祉用具別利用実績

単位：台

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
車椅子	2	1	4	3	4	4	3	3	3	3	3	2	35	5.5%
特殊寝台	25	30	30	30	32	32	34	32	33	33	33	36	380	59.6%
その他	14	15	16	17	19	19	19	20	21	21	21	20	222	34.9%
計	41	46	50	50	55	55	56	55	57	57	57	58	637	100%

(前年度 515)

2 特定福祉用具販売事業実績

	実人数	シャワー チェア	ボ-カブル トイレ	浴槽 手すり	浴槽台	バス ボ-ト	補高 便座	簡易 トイレ	すのこ	計
要支援1	17	12	1	5	5	0	1	0	0	24
要支援2	10	7	3	5	2	0	0	0	0	17
要介護1	21	12	2	9	6	1	0	0	0	30
要介護2	16	6	4	3	4	1	1	0	0	19
要介護3	12	8	7	3	4	0	0	0	0	22
要介護4	5	5	4	4	2	1	0	0	0	16
要介護5	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	82	50	22	29	23	3	2	0	0	129

(前年度 128)

2022年度 自立支援センターあおぞら事業実績

1 福祉事業活動（障害福祉サービス）

（1）サービス別利用者実人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
生活介護	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
就労移行支援	5	5	5	5	5	4	5	4	3	5	6	6	58
就労定着支援	0	0	2	2	2	2	2	2	2	3	3	4	24
就労継続B型	27	26	26	26	26	25	24	28	27	29	28	29	321
計	38	37	39	39	39	37	37	40	38	43	43	45	475

（2）生活介護サービス利用者延べ人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
区分4	36	33	39	37	38	36	36	32	31	32	31	39	420	30.8%
区分5	40	36	41	40	44	39	38	32	34	39	38	43	464	34.0%
区分6	40	36	42	40	45	40	39	33	40	40	40	44	479	35.1%
計	116	105	122	117	127	115	113	97	105	111	109	126	1,363	100%

月平均利用延べ人数 113.6 人

(前年度 1,421)

（3）就労移行支援サービス利用者延べ人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者	102	92	100	95	88	74	91	72	57	79	96	83	1,029

月平均利用延べ人数 85.8 人

(前年度 942)

（4）就労継続支援B型サービス利用者延べ人数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者	430	385	440	371	411	360	378	458	397	373	395	467	4,865

月平均利用延べ人数 405.4 人

(前年度 4,494)

2 就労支援活動

	2022年度実績	2021年度実績
灯籠作り	売上本数 15,224本	売上本数 13,139本
貝殻通し	通し本数 45,170本	通し本数 40,680本
空缶回収	回収量 3,871kg	回収量 2,474kg
施設外就労	本庁掃除 98回, 農園作業 81回	本庁掃除 99回, ATM清掃 12回 農園作業30回
その他	靴下端切れマット製作販売, 銀杏販売, 大柿老人福祉センター・桂浜温泉館常設出店, いりこ選別作業, 清掃作業	靴下端切れマット製作販売, 銀杏販売, 大柿老人福祉センター・桂浜温泉館常設出店, いりこ選別作業, 清掃作業